



<編集兼発行人>

公益財団法人福岡県国際交流センター
事務局長 高崎 陽子

<発行日> 平成25年7月

<所在地> 福岡市中央区天神1丁目1番1号
アクロス福岡8階

(公財) 福岡県国際交流センターの最新の移住事業をお伝えします

平成25年度 移住者子弟留学生8名が新生活をスタート!



【海老井副知事と記念撮影】

今年度は8名の移住者子弟留学生が4月に来日し、福岡で1年間の留学生生活をスタートさせました。6月には、海老井副知事を表敬訪問し、副知事より「福岡県は皆さんのルーツとなるところです。皆さんの祖先は、非常に厳しい条件の中で苦勞されながらも、勤勉さ、誠実さ、優秀さがそれぞれの国で高く評価され、活躍されています。移住者の方たちは福岡のことを想い、自国と福岡の架け橋になろうと県人会を作り活動されています。皆さんには、この1年間で自分のルーツ、現在の日本を知って頂き、それぞれの国で情報を広げて、これから架け橋となって頂きたいと思ひます。そして、今年、10月に世界大会が福岡で開催されます。

世界各地から、ふるさとに帰って来られるということで、各県人会の方たちも楽しみにして下さっています。ぜひ皆さんにもお手伝いをして頂きたいと思ひます。」と激励の言葉を頂きました。

県費留学生に聞きました! (福岡の印象、日常生活、将来の目標)

福岡の印象



ヨシカイ ベニテス ディエゴ アロンソ (ペルー) 伝統的な古い寺院や近代的な福岡の新しい建物は古い伝統と社会の発展の象徴を兼ね備えています。それから、今は、雨がとても激しく長い時間降っています。私が住んでいたアレキパは乾燥しているので、一日中ずっと雨が降っているのを見たのは初めてでした。

細江 タニア 絵美 (ブラジル) 福岡の色々な所に行きました。福岡の人は皆、親切です。2ヶ月しか経っていないけど本当に来て良かったと思っています。色んな人に出会って、私の世界がどんどん広がっている感じがします。



金川 龍介 (南加) 九州大学で園芸の勉強をしています。有機栽培法と従来の栽培法での植物の生育の研究をしています。勉強もしていますが、今回来た留学生とボウリングやカラオケに行ったり、家族会の皆様と虫を見に行ったりするなど貴重な経験もさせてもらっています。



徳永 直人 (ポリビア) 第一自動車整備専門学校に通っています。そこで自動車の分解と組み立てを繰り返して、車の部品の名前や構造を学んでいます。放課後は、クラスの友達とボウリングに行ったり、福岡の食べ物を愉しみながら日々を送っています。

日常生活



湯浅 ファクンド (アルゼンチン) 九州工業大学 情報工学部機械情報工学科で、植原先生の研究室に入って、樹脂金型の研究をしています。さらに、大学の授業や日本語教室の授業を受けています。様々な勉強会や工場見学も経験しました。



目標

横尾 謙児 ロナルド (ブラジル) 1年の提案された計画を全うしたいと思います。できるだけ多くの場所を訪問し、日本の文化について詳細を学び、ルーツを探し、日本語がうまくなるようにしたいです。



松延 理恵 (ブラジル) 家族が開く食堂のために、経済大国日本のきめ細かく、確実な経理を学んでブラジルで活かしたいと思ひます。帰国するまでに、ニュースを分かるように、新聞などを読めるようになりたいです。



上田 上村 ゆきこ ブルナ (ブラジル) 日本語はもちろん、日本の経済を学びたいと思ひます。ブラジルと日本の経済の発展のために学ぶとともに、身に付けてきたことをブラジル社会に帰って、役に立てたいと思ひます。



第8回 海外福岡県人会 世界大会

ルーツは福岡 夢は世界へ
2013年10月9日~12日

2001年以来、12年ぶりの福岡での開催です! 「ふるさと」福岡の現状、魅力を余すことなく伝え、新たな交流の拡大・促進を図る大会となるよう準備を進めています。詳しくは facebook まで

www.facebook.com/fukuoka.kenjinkai